



おおにしだより

第34号

平成26年 4月15日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室



平成26年度がスタート

本年度もよろしくお願ひいたします。

桜花爛漫の言葉が実感できる春となりました。すべての子どもがよき出逢いをし、可能性の芽を出し、個性に花を咲かせてほしいと祈らずにはいられません。

年度が改まり、58名の新入生と定期異動による2名の教職員を迎える、大平西小学校にも、暖かい春の光が差し込んでいます。381名の全校児童と

26名の教職員の表情は皆、清々しく、学校中に笑顔が溢れ、やる気に満ちています。岩舟町との合併で、ますます発展を遂げている栃木市とともに、大平西小学校も順調に平成26年度がスタートしました。本校は、明治44年11月25日に創立以来、本年度で103年目を迎えます。長い歴史と伝統の中で、脈々と培われてきたよき校風と、地域の中に生き、地域と一緒に育った教育を継承し、子どもたちが「郷土を愛し、誇りに思える」学校づくりに努めてまいりたいと考えます。本年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

合言葉は「チームおおにし」

和をもって、子どもの教育に全力投球！！

本校教職員の豊かな人間性と確かな指導力を基に、「活力に満ちた楽しい学校」「家庭や地域社会から信頼される学校」を目指してまいります。具体的には、以下のような目指す三つの学校像を考えました。

- ◎ 子どもにとって、勉強がよくわかり、友だちと活動するのが楽しい学校（いきいき）
- ◎ 保護者・地域の人にとって、通わせたくなる信頼される学校（信頼）
- ◎ 教職員にとって、よさを生かし、ともに学び合うことのできる学校（協働・研鑽）

本校の教育目標は、『心豊かに さとく たくましい 西小の子どもの育成』です。

また、目指す三つの児童像を「やさしい子」「考える子」「つよい子」としました。これを私は、次のように考え、子どもたちを育てたいと思います。

☆ 共に生きる **やさしい子** 『仲よく助け合い、進んで行動する子』

◇自らを律し、他人とともに協調し、正義感や公正さを重んじる心、他人を思いやる心、感動する心、規範意識等の豊かな人間性を育てる。

☆ 自ら生きる **考える子** 『自ら学び、考え、課題を解決する子』

◇自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

☆ 豊かに生きる **つよい子** 『健康や安全について考え、チャレンジする子』

◇たくましく生きるために健康や気力・体力を育てる。

これらの目標達成や、よりよい学校づくりのために、「自信と誇りをもって、子どもたちと向き合える教職員」が一丸となって、「チームおおにし」を合言葉に全力で教育実践に努めてまいります。以下は、本校における目指す三つの教職員像です。

※ 人間性豊かで信頼される教職員

※ 幅広い視野と確かな指導力をもった教職員

※ 教育的愛情と使命感をもった教職員



入学おめでとう！

本校の特色ある教育活動は…

- ☆ 開かれた学校：「とちぎ未来アシストネット」等との連携のもと、保護者や地域との信頼関係を作り、地域とのつながりを密にした学校づくりを目指しています。
- ☆ 学力向上研究：「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」を研究テーマとして、日々の授業における指導方法の工夫改善に努めています。
- ☆ 思いやりのある心を育てる異学年交流活動：「仲よしグループ」を中心とした異学年交流を密にし、児童が生き生きと過ごす学校を目指しています。

4月8日（火）の始業式では、進級した子どもたちの顔には、この一年間頑張るぞという意気込みに溢っていました。新学期のスタートにあたり、私は、以下のような内容のお話をしました。ご家庭でも、お子さんを励ましてください。

①人との出会いを大切にしましょう！ 皆さんは、家族、先生、友だち、地域の方々など、たくさんの人々に囲まれて暮らしています。人に影響されて自分が変わることはとても多いのです。ぜひ、人との出会いを大切にしてください。そのためには、「自分から進んで」「相手の目を見て」「笑顔で元気よく」最高のあいさつができるように、がんばってください。

②自分から進んで勉強しましょう！ 西小の児童は皆、とても素晴らしい力をもっています。その素晴らしい力が發揮できるためには、学習の時には、「先生やお友だちの話をしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと話す」ことが大切です。また、分からぬことがあったら、先生に質問したり、自分で調べたりすることが大切です。ぜひ、がんばってください。

③いろいろなことに挑戦しましょう！ いろいろやってみる。チャレンジしてみるということです。毎日の生活の中では、「やってみようかな？」「どうしようかな？」と迷ってしまうことがあります。そのような時には、勇気を出して、思い切ってやってみることです。失敗を恐れる必要はありません。今までできなかつたことも、今年こそいろいろやってみましょう。校長先生も、先生方も応援したいと思います。

☆本校の全教職員が381名の児童と心をひとつにして、頑張ります。

【職員構成・児童数・PTA会員数】

校長	市村秀夫	教頭	高際裕子
教務主任	青木良繁	事務長	町田貴美子
学習指導主任（少人数指導）	寺崎光一	児童指導主任	鈴木孝美
めぶき学級（知）担任	菅沼佐知子	めぶき学級（情）担任	黒澤久恵
養護助教諭	荒川幸子	初任研指導教員	村川芳江
初任研後補充	橋本薰	主任技能員補	篠崎岳純
事務補助員	五十嵐恵理子	特別支援教育支援員	田崎千代美
特別支援教育支援員	栗田礼子		
学年	男	女	計
1	27	31	58
2	41	38	79
3	29	33	62
4	37	24	61
5	33	30	63
6	29	29	58
合計	196	185	381
P会員数	35	1組	2組
		○大川浩子	山中不二子
		○亀田稔枝	高橋繁
		○小林澄江	館野隼人
		越沼有子	○新井浩
		鈴木孝美	○山田利里子
		○若菜明美	塚越恵
		○印は学年主任	

【転出された先生方】

「ありがとうございました。お元気で！」

稻葉京子（退職）
小倉朋美（退職）
直井年輝（退職）

【転入された先生方】

「頑張ります。よろしくお願いいたします。」

青木良繁（栃木市立藤岡小）
篠崎歩（新規採用）

幸せいっぱいの1年生～地域の皆様のご厚意に感謝いたします。

都賀町在住の中村和男様から、栃木市内の小学校に入学する児童約1300人に、黄色い傘を一人2本ずつご寄贈いただきました。この傘は、入学のお祝い並びに登下校の安全に資するものとしていただいたものです。本校では、入学式の後に配付いたしました。1年生は皆、大喜びです。

また、栃木市交通安全協会大平支部女性ドライバー会の皆様から、新1年生に交通安全を呼びかけるキャラクターのハンカチをいただきました。同会は、毎年、秋に開かれる「おおひら産業祭」のバザーに出展し、会員たちが持ち寄った衣類や日用品を販売。その益金の一部を利用しハンカチを購入したことです。

大平町更生保護女性会の皆様からは、家庭教育の原点とも言えるドロシー・ロー・ノルトの詩『子は親の鏡』と、かわいい鈴のついた手作りのアクセサリーをいただきました。これは、入学した1年生の健やかな成長を願ってご寄贈いただいたものです。同会の皆様は揃って、入学式当日にご来校。ピカピカの1年生に、直接手渡してくださいました。お忙しいところ本当にありがとうございました。

